

# 岐阜県最低賃金は、10月1日から 時間額851円に改正されます！

- 最低賃金は、パートタイマー・アルバイト・臨時・嘱託などの雇用形態や呼称に関係なく、働くすべての方に適用されます。

賃金の引き上げを支援する助成金などの支援制度があります。

## 支援制度の例 (注：〈 〉内は生産性要件を満たした場合)

### 業務改善助成金

設備投資、研修等(※1)を行い、事業場内の最低時給額を引き上げた場合、設備投資等(※1)費用の一部を助成します。

①中小企業、小規模事業者の事業場(※2)30人以下かつ②事業場内の最低時給額が855円以下(※3)で③30円以上(※4)引き上げた場合

助成率：設備投資等(※1)の3/4〈4/5〉  
ただし、賃上げ1~3人の場合 50万円上限  
4~6人の場合 70万円上限  
7人以上の場合 100万円上限

- ※1 販売管理ソフト導入、人材育成の研修、業務改善のコンサルティング費用など
- ※2 1つの企業で複数の事業場(店舗)ごとに申請できます。
- ※3 令和元年10月1日以降は881円以下となります。

### キャリアアップ助成金 (賃金規定等改定コース)

すべての有期契約労働者等の賃金規定等を増額改定した場合、その人数に応じて助成します。

すべての有期契約労働者等の賃金規定等を増額改定(2%以上増額改定)した場合  
1~3人 9万5千円〈12万円〉  
4~6人 19万円 〈24万円〉  
7~10人 28万5千円〈36万円〉  
11~100人 1人あたり2万8500円  
〈3万6千円〉  
(一部の賃金規定等を増額改定した場合には、お問い合わせください。)

- ※4 各助成金を10月1日以降に申請される場合は、時間額851円からさらに賃金を引き上げる必要があります。

## 支援制度のお問合せ

業務改善助成金については	岐阜労働局雇用環境・均等室	058-245-1550
キャリアアップ助成金については	岐阜労働局助成金センター	058-263-5650
最低賃金制度についてのお問合せは	岐阜労働局賃金室	058-245-8104

# ～・業務改善助成金の活用事例～

## 具体的な設備投資などについてご参考にしてください

### 業務改善

#### 事例

販売管理ソフトの導入による見積み作業のミスや請求書発行時間の削減と在庫管理の適正化

<企業概要>  
【所在地】熊本県 【従業員数】8人  
【事業の種類】船具・船舶用塗料販売業

<課題と対応>無駄な在庫を削減するため、ソフト導入による業務効率化を検討してきた。

商品のアイテム数が多い上、感覚で仕入れを行ってきたため、無駄な在庫が増え、コスト削減ができていない状況でした。そこで、助成金を活用して販売管理ソフトを導入しました。

販売商品の在庫管理を適正化したい



社長



<導入前>

<導入後>

見積み作業ミスの削減で販売管理時間が30分～1時間削減、在庫数は1/3を目標に削減中

<独自の工夫>

不要な保険の解約、定期購読誌のとりやめ、まめな電灯の消灯など、コスト削減に力を入れている。

<実施内容>販売管理と連動した在庫管理による適正な仕入れを目指し、販売管理ソフトを導入し、販売管理時間を削減、無駄な在庫を削減しつつある。

<成果>見積み作業のミスや請求書発行時間の削減によって生産性が向上し、1人の従業員の時間給(事業場内最低賃金)を124円引き上げた。さらに、事業場内最低賃金以外の従業員の賃金の引上げを実施した。

#### 助成金活用のポイント

販売管理ソフトを導入したことで、見積み作業のミスや請求書発行時間が削減し、在庫削減に取り組み、在庫管理の適正化を目指している。

(※平成29年度時点の制度に基づく事例)

### 業務改善

#### 事例

新型食器洗浄機の導入による洗浄業務の効率化と光熱・洗剤費用の削減

<企業概要>  
【所在地】広島県 【従業員数】61人  
【事業の種類】ホテル業

<課題と対応>食器洗浄に要する人員、時間、電力、水、洗剤を削減するため、設備投資による業務効率化を検討してきた。

25年前に導入した食器洗浄機を使っていたため、洗浄に要する人員・時間・経費がかかり、業務が非効率となっている状況でした。そこで、助成金を活用して新型の食器洗浄機を導入しました。

食器洗浄作業を効率化したい



社長



<導入前>

<導入後>

洗浄人員は6名から5名に、食器洗浄・乾燥時間が2/3に短縮

<実施内容>新型食器洗浄機を導入したことにより、洗浄・乾燥に係る人員や時間、電力、水、洗剤を削減することができた。また、掃除や整理整頓など、他の作業時間を創出できた。

<成果>食器洗浄にかかる人員や時間の削減によって生産性が向上し、1人の従業員の時間給(事業場内最低賃金)を40円引き上げた。さらに、事業場内最低賃金以外の従業員の賃金の引上げを実施した。

#### 助成金活用のポイント

新型の食器洗浄機を導入したことで、食器洗浄業務の効率化・経費の削減につながった。

(※平成29年度時点の制度に基づく事例)

### 業務改善

#### 事例

コンサルタントによる職務評価制度の導入や各種業務マニュアルの作成による人材育成の強化・顧客対応の向上・業務の効率化・人材定着

<企業概要>  
【所在地】香川県 【従業員数】15人 【事業の種類】飲食業  
<課題と対応>人材育成を強化するため、評価制度やマニュアルの整備を検討してきた。

人材育成や業務改善は、社長の経験と勘に多くを頼っている状況でした。そこで、助成金を活用してコンサルタントによる職務評価制度の導入や各種業務マニュアルを作成をしました。

店舗スタッフの人材育成を強化したい



社長



<導入前>

<導入後>

新人スタッフの育成が容易になり、顧客のクレームは無くなり、作業時間が20%程度短縮、人材定着

<独自の工夫>

社長の指示の下、勤務間インターバル制度を導入し、「職場いきいき推進員」を任命、年1回の「労使懇談会」を開催して、従業員が働きやすい職場づくりをしている。

<実施内容>コンサルタントの指導により「職務評価制度」、「能力開発体系」、「接客マニュアル」、「調理マニュアル」、「クレーム処理マニュアル」を導入したことにより、業務の効率が向上した。それまですべてのスタッフが非正規社員であったが、1名を正規社員とし、アルバイト4名のうち、定着を図るため、2名の労働時間を増加させ、雇用保険の被保険者とした。

<成果>人材育成の強化によって生産性が向上し、1人の従業員の時間給(事業場内最低賃金)を60円引き上げた。

#### 助成金活用のポイント

コンサルタントの指導により職務評価制度の導入や各種業務マニュアルを作成したことで、人材育成の強化、顧客対応の向上、業務の効率化、人材の定着につながった。

(※平成29年度時点の制度に基づく事例)

### 業務改善

#### 事例

セミセルフPOSレジの導入によるレジ業務の効率化

<企業概要>  
【所在地】熊本県 【従業員数】24人  
【事業の種類】生鮮食料品小売業  
<課題と対応>繁忙時のレジ待ちの行列を削減するため、設備投資による業務効率化を検討してきた。

購入代金や釣銭の受け渡しまでをすべて従業員が行っていたため、顧客の多い時間帯でレジ待ちの行列ができる状況でした。そこで、助成金を活用してセミセルフPOSレジを導入しました。

レジの精算業務を効率化したい



人事課長



<導入前>

<導入後>

レジの精算時間が1.5倍の速さになり、預り金や釣銭の受け渡しの間違いがなくなった

<独自の工夫>  
各冷蔵ケースの本体電源をこまめにOFFにしたり、別スイッチを取り付け、同業他社と比べ営業時間を短くしつつ商品を売りつくすようにしたりし、廃棄ロスや保管設備費の削減につなげている。

<実施内容>商品のバーコード読み取り後の購入代金や釣銭の受け渡しを顧客が機械で行うようにしたことにより、精算時間が短縮し、同じ時間でより多くの精算処理をすることができた。

<成果>レジ業務の削減によって生産性が向上し、23人の従業員の時間給(事業場内最低賃金)を52円引き上げた。さらに、事業場内最低賃金以外の従業員の賃金の引上げを実施した。

#### 助成金活用のポイント

セミセルフPOSレジを導入したことで、レジ業務の効率化につながった。

(※平成29年度時点の制度に基づく事例)